

モニタリングレポート(平成30年度)

施設名	ベルホーム				
施設所在地	鈴鹿市江島町3447番地の5				
指定管理者名	社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会				
評価担当課	障がい福祉課	問合せ先	059-382-7626		
施設の運営状況	(確認方法)月次報告, 年度事業報告書				
生活介護利用登録者 (年度末)	47名	延べ利用者数	7,828名	平均利用者数	30.7名
日中一時利用登録者 (年度末)	7名	延べ利用者数	79名		
事業収支	(確認方法)年度事業報告書				
項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)		
指定管理料	30,353,000	30,353,000	0		
介護保険事業収入	0	0	0		
障害福祉サービス等事業収入	108,222,000	108,179,056	▲ 42,944		
その他	236,000	263,741	27,741		
事業活動収入計	138,811,000	138,795,797	▲ 15,203		
人件費(給与・法定福利費等)	102,467,000	104,363,935	1,896,935		
事業費	5,427,000	5,379,395	▲ 47,605		
諸謝金	322,000	316,000	▲ 6,000		
保健衛生費	1,000	15,022	14,022		
教養娯楽費	321,000	247,858	▲ 73,142		
消耗器具備品費	1,594,000	1,582,262	▲ 11,738		
車両費	3,189,000	3,218,253	29,253		
事務費	23,971,000	23,685,245	▲ 285,755		
福利厚生費・旅費・研修費	387,000	389,958	2,958		
事務消耗品費・印刷製本費	490,000	434,822	▲ 55,178		
水道光熱費	3,284,000	3,240,016	▲ 43,984		
修繕費	941,000	944,636	3,636		
通信運搬費	464,000	461,713	▲ 2,287		
業務委託費	13,658,000	13,536,052	▲ 121,948		
手数料	47,000	41,452	▲ 5,548		
保険料	1,063,000	1,003,756	▲ 59,244		
賃借料	2,541,000	2,540,040	▲ 960		
租税公課	4,000	2,000	▲ 2,000		
保守料	1,083,000	1,082,160	▲ 840		
渉外費	9,000	8,640	▲ 360		
負担金	16,000	16,000	0		
事業活動支出計	131,881,000	133,444,575	1,563,575		
事業活動収支	6,930,000	5,351,222	▲ 1,578,778		
施設整備等による収支	▲ 934,000	▲ 933,444	556		
その他の活動による収支	▲ 6,087,000	▲ 5,957,007	129,993		
当期資金収支	▲ 91,000	▲ 1,539,229	▲ 1,448,229		

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価)	月次報告書	○	適切に履行されている
	現地調査	○	適切に履行されている
	定例報告会	○	適切に履行されている
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価)	アンケート	優良	要望はあるが、利用者は満足している
	現地調査	優良	利用者への支援内容は適切である
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価)	貸借対照表 (拠点区分)	○	純資産がプラスである。
	年度事業報告書 (収支計算書)	△	本年度収支はマイナスとなっているが、前年度までの資金残高により調整できており問題は無い。
	年度事業報告書 (財産目録)	○	資産が負債を上回っている。 (差引純資産がプラス)
年度業務報告書の内容評価			(適)・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力いずれの点においても優秀な内容である。			
定例報告会の頻度と内容の評価			(適)・不適
月1回の定例報告について、軽易な案件の場合、市職員(ケースワーカー)訪問時に報告を行うこともある。また、課題等については、内容等により随時、協議を行っている。			
緊急時の対応評価			(適)・不適
重大な事故の発生はなく、業務内容から発生する事故(怪我など)への対応は適切におこなわれ、必要な報告は月次報告でされている。			
指定管理者の総括評価			(適)・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力に問題はなく、緊急時の対応も適切に行われている。利用者アンケートの評価及び利用者からの信頼の高く、安定したサービスの提供を行っている。			
施設の課題と対策			
平成30年度には職員による利用者への虐待事案が発生した。発生経緯の調査、組織としての再発防止に向けた取組みを行った。 また、施設の対応について、納得がいかないという意見が届くこともあったため、利用者に配慮した施設運営を行っていく必要がある。			
施設の方向性			
利用者からは安定した施設の運営が求められており、施設の継続は必須である。 引き続き、利用者の満足度を向上させる運営を行っている。			